

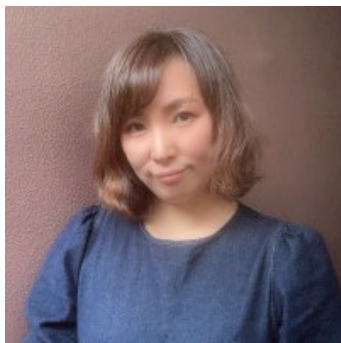
# Geospatial.jp G空間情報センター

ニュースレター 第44号 2024年7月発行

## 【目次】

- [1. 公共交通データの利活用を促進する「GTFS データリポジトリ」のご紹介](#)
- [2. 上位アクセス状況\(集計期間：2024.5.1-6.30\)](#)
- [3. 最新のお知らせ](#)
- [4. 佐賀県嬉野市におけるデジタルスタンプラリーによる観光周遊の挑戦](#)
- [5. 注目のコンテンツ紹介](#)
- [6. 【お知らせ】夏季休業期間について](#)

## 1. 公共交通データの利活用を促進する「GTFS データリポジトリ」のご紹介



一般社団法人社会基盤情報流通推進協議会  
榎本 真美

一般社団法人社会基盤情報流通推進協議会（以下、AIGID）が運用するサービス「[GTFS データリポジトリ](#)」では、コミュニティバスを運行する市町村や交通事業者等が整備した、バス等の公共交通データを GTFS 形式で公開しています。このリポジトリに登録されたデータはオープンライセンスである為、誰でも自由にダウンロードまたはAPIを使って利用することが可能です。2024年7月現在、280の自治体や事業者が GTFS データリポジトリを用いてデータを公開しています。

### 1. 公共交通分野のオープンデータ

バス業界を中心に、GTFS(General Transit Feed Specification)というデータフォーマットで、路線や時刻表などの交通情報の整備・公開が進んでいます。GTFS 形式のデータは、バス停の名称や位置・路線・時刻表・料金表等を決められた構成の CSV 形式に格納し、それらを一つの ZIP ファイルにまとめたものです。国土交通省により日本国内の標準形式として採用され、GTFS 形式のデータ整



富山県: 富山地方鉄道バス

**フィード情報**

フィード名: 富山地方鉄道バス

都道府県: 富山県 **CC0, CC BYなどライセンスを設定**

ライセンス: **CC0 4.0** **当日用・予定用などの固定URLを自動発行**

ダウンロードURL(現行): <https://api.gtfs-data.jp/v2/organizations/chitetsu/feeds/chitetsubus/files/feed.zip>

ダウンロードURL(次が現行[Google用]): <https://api.gtfs-data.jp/v2/organizations/chitetsu/feeds/chitetsubus/files/feed.zip?rid=next>

GTFS RT: TripUpdate URL: <https://gtfs-rt-files.buscatch.jp/toyama/chitetsu/TripUpdates.pb>

GTFS RT: VehiclePosition URL: <https://gtfs-rt-files.buscatch.jp/toyama/chitetsu/VehiclePositions.pb>

**GTFSリアルタイムのURLも登録可能**

**事業者情報**

事業者名: 富山地方鉄道

事業者ID: chitetsu

Webページ: <https://www.chitetsu.co.jp/>

Email:

**ダウンロード** **過去～現在～予定の時系列でデータを蓄積**

世代	開始日	終了日	更新情報	更新メモ	ダウンロード
現行バージョン	2022-10-30	2023-10-29		航空時刻変更に伴う 空港線のダイヤ改正 (10/30)	DL
前バージョン	2022-10-08	2023-10-07		誤りの修正	DL

図2：登録された GTFS データの詳細情報

データはオープンライセンスで公開されており、商用利用を含む様々な用途に活用頂けます。固定 URL で当日のデータを指定して取得できる為、デジタルサイネージなどのシステムと自動連携にも利用できます。

### 3. QGIS プラグイン「GTFS-GO」

QGIS は、無料で使えるオープンソースの GIS です。プラグイン「GTFS-GO」（開発：MIERUNE 社）を用いることで、GTFS データリポジトリに登録されているデータを数クリックで QGIS の地図上に読み込むことが可能です。地域の公共交通計画や分析に、ぜひご活用ください。

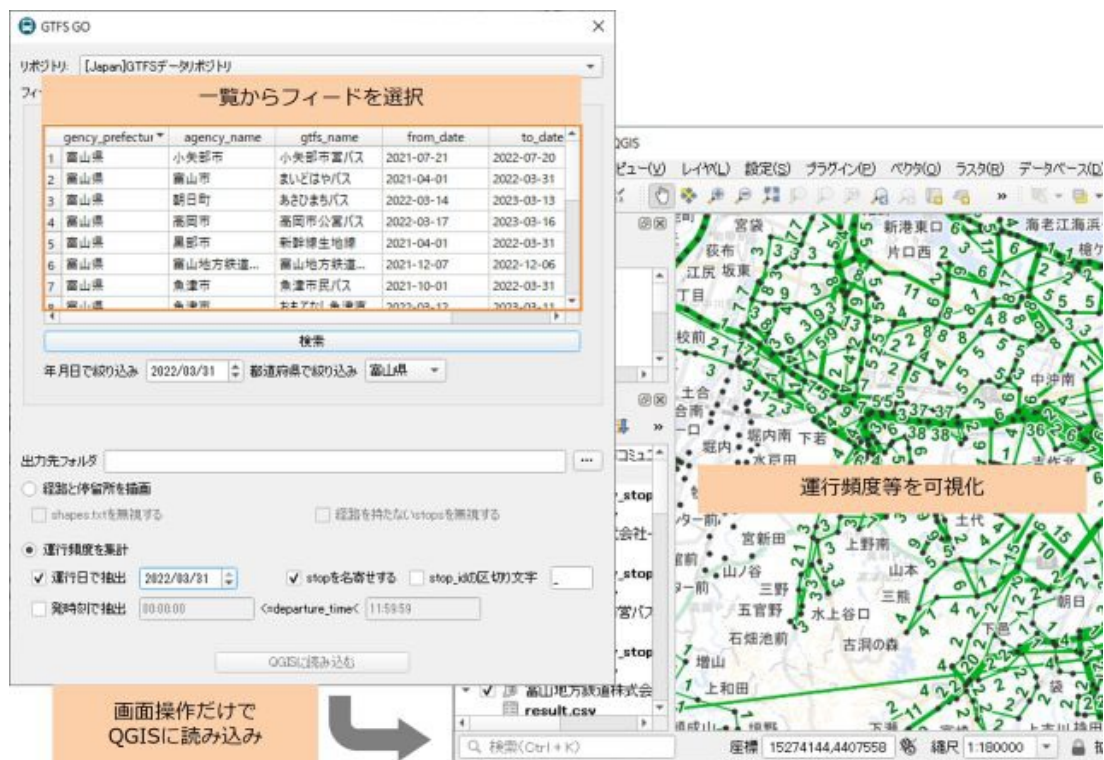


図3：QGISプラグイン「GTFS-GO」の利用イメージ

#### 4. 今後に向けて

現在 AIGID は、（一社）日本バス情報協会のご協力のもと GTFS データリポジトリサービスの管理・運用を行っています。データ登録者とデータ利用者の双方の利便性が向上するよう、継続した運用とサービス向上に努め GTFS データの普及促進に寄与できればと考えています。

また、GTFS データの整備や公開を検討されている自治体・交通事業者のご担当者様に向けて、[GTFS データリポジトリの Web サイト](#)では、本サービスの概要やデータの登録・公開方法を紹介しています。GTFS データリポジトリにデータを登録することで、利用されやすい一元的な方法でデータが配信され、データ管理や公開の省力化と利用拡大が見込めます。ぜひご参照ください。

#### ■本件お問い合わせ先

GTFS データリポジトリ事務局（担当：榎本 [gtfs-office@aigid.jp](mailto:gtfs-office@aigid.jp)）

## 2.上位アクセス状況(集計期間：2024.5.1-6.30)

登録ユーザー数	81,852 名
期間アクセス数	981,419
登録組織数	688 件
データセット数	14,343 件
ファイル数	87,290 件

## 人気のデータセット

1	3D 都市モデル (Project PLATEAU) 東京都 23 区
2	VIRTUAL SHIZUOKA 静岡県 中・西部 点群データ
3	3D 都市モデル (Project PLATEAU) 大阪市 (2022 年度)
4	長野県_CS 立体図
5	静岡県 富士山南東部・伊豆東部 点群データ
6	3D 都市モデル (Project PLATEAU) 新宿区 (2023 年度)
7	3D 都市モデル (Project PLATEAU) 札幌市 (2020 年度)
8	3D 都市モデル (Project PLATEAU) 渋谷区 (2023 年度)
9	3D 都市モデル (Project PLATEAU) 東京 23 区 (2022 年度)
10	3D 都市モデル (Project PLATEAU) 横浜市 (2023 年度)

## 3. 最新のお知らせ

G空間情報センターの最新のお知らせは[こちら](#)

最終更新順データセット一覧は[こちら](#)

\*リンクを開く際、少しお時間がかかる場合があります。

## 4. 佐賀県嬉野市におけるデジタルスタンプラリーによる観光周遊の挑戦



日本工営株式会社  
福岡支店基盤技術部統合情報サブグループ  
堀内 雅生

日本工営株式会社（以下、弊社）は、土木・建築等の技術を用いて、国・地方自治体・海外政府機関・民間企業等の事業者に対し、国土・地域・都市整備プロジェクトの立案・検討・技術提案 や、調査・環境評価・設計・施工監理・維持管理業務を行っています。本記事では、弊社が取り組む佐賀県嬉野市におけるデジタルスタンプラリーによる観光周遊への挑戦について、ご紹介いたします。

### 1. はじめに

ご紹介するデジタルスタンプラリーは、良質な温泉や茶産業等を有する佐賀県嬉野市で実施している、デジタル技術活用による観光支援を行う「[嬉野市未来技術地域実装事業](#)」の一環で実施しています。

本事業は、西九州新幹線の嬉野温泉駅の開業により来訪者拡大の機運が高まるなか、新型コロナウイルスの影響により主力産業である観光に大きな打撃を受けた状況を打破する為、下記の3つの柱を掲げて観光産業及び地域の活性化を目指し、2021年から実施しています。

- (1) 嬉野市の魅力を全国・全世界に発信する環境づくり
- (2) 来訪者の移動を支えるモビリティサービス
- (3) 観光関連データの活用

(1)は、観光が主産業である嬉野の魅力を伝えるための様々な未来技術の取り組みを実施しており、観光施設検索やチャットボットによるおすすめ店舗情報提供機能等を持つ嬉野温泉公式 LINE アカウント「嬉野温泉観光案内所」を開設しました。また、観光メタバースの「デジタルモール嬉野」、観光バーチャルツアーとして街中を散歩しながら店舗下見が可能な「バーチャル嬉野散歩」、嬉野温泉駅で観光スポットのプレ体験が可能な観光 VR 体験「バーチャル嬉野」をリリースしました。本記事では、(1)の一環で実施したデジタルスタンプラリーについて紹介いたします。



図1：「嬉野市の魅力を全国・全世界に発信する環境づくり」事業概要

## 2. 観光周遊増加に向けたデジタルスタンプラリー企画の概要

前述の嬉野温泉公式 LINE アカウントを活用し、LINE アプリ上の地図にプロットされるお店を探します。実際の店舗の店頭にある二次元コードを読み込むと入手できるデジタルスタンプを4個集めることで、ノベルティグッズをGETできるデジタルスタンプラリー企画を開催しました。2022年度にデジタルスタンプラリーを試行し、本企画は2023年度、2年目の開催として、嬉野観光を盛り上げながら協賛いただいた店舗への観光周遊の増加を目的として、地域一丸で取り組みました。

今年もやってきました、うれしのあったかまつり。

街中に現れるランタンに心が温まる季節です。ランタンは地元の人で毎年手作りしています。食べ歩きをしながら昼間に見るのもよし、宿の浴衣で居酒屋やスタックをほしこしながらいとアップされたランタンを見るもよし。この季節しか見られない嬉野が味わえます。

そして、「嬉野温泉観光案内所」のLINEお友達限定で、スタンプラリーを開催。嬉野の店舗紹介や交通案内はもちろんのこと、お店で特典がもらえたり、スタンプを集めると豪華景品をプレゼントしています。スタンプラリーをしながら嬉野のまちをぜひご堪能下さい。

開催中

うれしのあったかまつり  
伝統の灯り  
[会場] 嬉野温泉街一帯

LINE de うれしの  
スタンプラリー

2024.1.27Sat~2.12Mon

参加方法

LINE 公式アカウント  
ID検索は@225bbukv

QRコード

メニュー1

メニュー2

このデザインが目印!!

LINEアカウント「嬉野温泉観光案内所」をお友達登録しよう(アンケートに協力下さい)

スタンプラリーメニューをタップ

下にスクロールしてマップから協力店舗をチェック

設置施設へ行きカメラスキャンより店舗の二次元コードをスキャン

図2：デジタルスタンプラリー企画の概要

### 3. デジタルスタンプラリー企画の実施結果

2024年1月27日～2月12日に実施した本企画では、合計660名の方に参加いただきました。スタンプがスキャンされた場所は、商店街の中心地のほか、商店街本通りを中心に、多くの店舗を周遊する履歴が一定数確認されました。(図3参照)。

2年目の開催となった本企画では、企画が地域公式イベントとして根付き始め、協賛店舗から「スタンプを押しに実店舗に来た観光客が店内の商品を見るきっかけとなった」「スタンプを押しに来たついでに商品を買っていった」など、企画により消費者の購買活動増加に繋がったという意見を、1年目実施時と比較して多く頂き、観光客の周遊促進及び消費額向上への一定の効果が確認できました。

本企画で取得したデータからは、スキャン地点情報から観光客の周遊経路を把握することも可能であり(図4参照)、現在はデータ活用による観光マーケティング戦略へのフィードバックの検討を進めています。

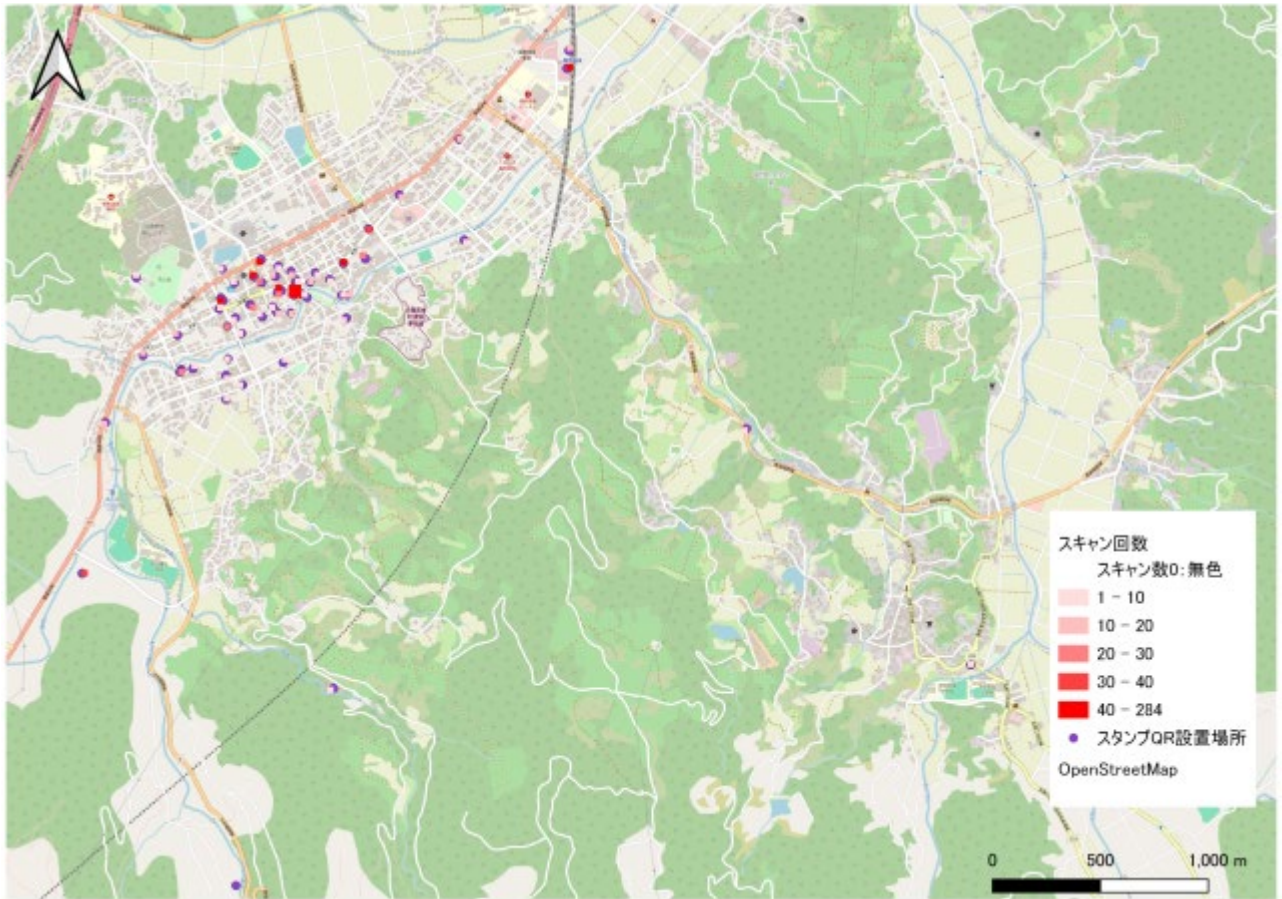


図3：スタンプスキャン回数（QGIS を用いて集計）



図4：スタンプスキャン地点情報より求めた周遊経路例（自社開発アプリにて可視化）



#### 4. 今後の展開予定

本記事でご紹介した LINE 公式アカウントによる取り組みのほか、「デジタルモール嬉野」・「バーチャル嬉野散歩」・「バーチャル嬉野」を発展させ、地域への実装に向け動いています。

直近の予定として、2024 年 8 月 11 日には、嬉野市の一大イベント「嬉野温泉夏まつり・花火大会」の LIVE 中継として、“バーチャル花火大会”を「デジタルモール嬉野」上で開催します。地元で愛される花火大会ですが、今年は全国の皆さんにも楽しんでいただけるよう準備を進めています。バーチャル花火大会参加者には、参加後、実際に嬉野を訪れることで貰える参加特典も用意していますので、ぜひバーチャルでご参加頂いた後、リアルな嬉野へも来訪ください！

参加方法は、下記の二次元コードから公式 LINE アカウント「嬉野温泉観光案内所」を友達登録して、アンケート回答後に表示される観光メニューからデジタルモールにアクセスするだけ！開催前には、公式 LINE アカウントからの告知もあります。

今後も、嬉野市におけるデジタル技術を用いた観光支援の取り組みにご注目ください。

二次元バーコードから  
お友だち追加！



図 5：公式 LINE アカウント登録コード（左）と夏祭り花火大会告知（右）

#### ■関連サイト・問合せ先

デジタルモール嬉野：<https://virtual-ureshino-web.com/>

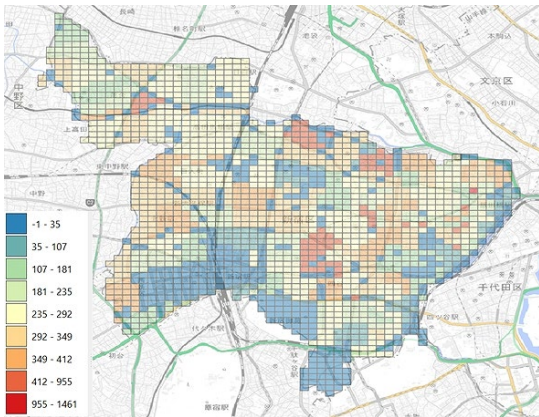
嬉野散歩：<https://www.nk-fuk-togo.net/OP/Ureshino/Sanpo02/>

問合せ先：日本工営株式会社 福岡支店基盤技術部統合情報サブグループ 渡部・堀内

Email：[A5669@n-koei.co.jp](mailto:A5669@n-koei.co.jp) / [A9570@n-koei.co.jp](mailto:A9570@n-koei.co.jp)

## 5. 注目のコンテンツ紹介

### 将来人口・世帯予測ツール V3 (R2 国調対応版)



国勢調査の小地域人口・世帯データを用いてコーホート法により将来人口予測を行うとともに、グラフ表示やマップ表示する機能を備えた Excel ベースのツールです。

なお、本バージョンでは将来人口のみ予測が可能です。

\*描画イメージは一例です。

[対象データセットはこちら](#)

## 6. 【お知らせ】夏季休業期間について

AIGID・G空間情報センター事務局は、8/9(金)~8/16(金)までお休みとなります。この期間、電話対応・メールのレスポンスが遅くなります。

急ぎのご用件は、下記メールアドレスまでお願いします。

[office@aigid.jp](mailto:office@aigid.jp)

よろしく願い申し上げます。

### ■G空間情報センターお役立ち情報

#### ◆G空間情報センターFAQは[こちら](#)

法務省登記所備付地図データ関連の情報等、よくあるお問い合わせを掲載しております。

#### ◆[G空間情報センターのYouTubeチャンネル](#)をご活用ください☆

G空間情報センターの使い方解説や、最新データセットの公開ご案内等、動画でご案内しております。チャンネル登録いただきますと、新しい動画の公開通知等が取得可能です。ぜひご活用ください。

### ご意見・ご要望について

G空間情報センターは、高度な地理空間情報社会の実現と皆さまの事業の発展に寄与・貢献できることを目標としています。

当センターへのご要望、ご意見、ご助言等ございましたら、遠慮なくご連絡ください。

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

G空間情報センターのユーザーアカウント登録は、[こちら](#)

G空間情報センターのご要望、ご意見は、[こちら](#)

一般社団法人 社会基盤情報流通推進協議会(AIGID)

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-10-5 代々木伊藤ローヤルコーポ 304 号室

メール : info@geospatial.jp

TEL : 03-6455-1845

※当ニュースレターの内容、テキスト、画像等の無断転載・無断使用を固く禁じます。